



Title	大阪大学英米研究 34 会則／執筆者紹介／奥付
Author(s)	
Citation	大阪大学英米研究. 2010, 34
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99344
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪大学英米学会会則

第1条 本会は次の会員によって構成される。

- 大阪大学外国語学部英語専攻の学科目を担当する専任教員。
- その他、本会が適当と認めた者。

第2条 本会は会員の学術研究を促進することによって、学際的研究を含めた英語圏の総合的研究の推進を図り、学術全般の進展に寄与することを目的とする。

第3条 本会は前条の目的を達するため機関誌『英米研究』を発行する。

第4条 本会に会長を置き、英語専攻の代表を会長とする。

第5条 本会に委員会を置く。

- 委員会に委員長を置き、委員長は会長が兼任する。
- 委員会に編集委員、会計委員、審査委員を置き、これらは委員長が委嘱する。
- 委員は本会の運営にあたる。

第6条 会員は機関誌『英米研究』に論文、研究ノートまたは書評、もしくは日本文学の英訳または日本文学・文化に関する英文の論文または研究ノートを投稿することができる。

第7条 投稿されたものは審査委員が審査し、採否を決定する。

執筆者紹介 (論文掲載順)

大津 智彦 大阪大学 言語文化研究科言語社会専攻 準教授

Ian C. Stirke 大阪大学 世界言語研究センター 外国人教師

Miki Nakamura(中村未樹) 大阪大学 言語文化研究科言語社会専攻 準教授

岡田 新 大阪大学 言語文化研究科言語社会専攻 教授

Antonio F. Smith 大阪大学 世界言語研究センター 外国人教師

スマス山下朋子 大阪大学 工学研究科国際交流室留学生相談部 講師

* 本号は、実用英語検定協会からの受託研究「大学英語教育におけるCEFR(ヨーロッパ共通言語参照枠)の活用に関する研究」による研究費を使用して出版されました。関係の皆様方には心より感謝申し上げます。

2010年3月31日 [非売品]

大阪大学『英米研究』第34号

発行者 大阪大学英米学会

印刷所 阪東印刷紙器工業所